

教員養成に対する理念及び認定課程設置の趣旨等

1. 大学としての教員養成に対する理念及び認定課程設置の趣旨等

- ※ 貴大学が教員を養成する課程を置こうと考える理由並びに大学全体としての教員養成に対する理念及び構想等を記入してください。
- ※ 貴学における教員養成に対する特色のある取り組みがあれば、それも含めて記載してください。

2. 認定を受けている課程を有する学科等の教員養成に対する理念及び設置の趣旨等

● 経営学部経営学科（中一種免（社会）・高一種免（地理歴史、公民、商業））

教員養成に対する理念

立命館大学経営学部は、「ビジネスを発見し、ビジネスを創造する経営学」の教育と研究という学部理念にもとづいて、多様化する企業の行動様式を広く科学的、実践的にとらえ、企業経営の進路を創造的に切り拓く、豊かな人間性を備えた人材を育成することを目標としている。

この人材育成目標を踏まえ、次のような教員を養成することを経営学部経営学科の理念とする。

- 1) <高い専門的力量>として、経営学の専門知識と論理的思考能力を有している。
- 2) <子ども（人間）理解力>として、広い視野で異文化を理解し尊重する能力、豊かな個性をマネジメントやビジネスに活かす能力を有し、それを子どもの理解へと繋げることができる。
- 3) <伝える力（＝実践力）>として、ビジネスに関する問題発見・問題解決能力やマネジメント課題の報告・討論・情報発信能力を有し、それを子どもへの教育に応用できる。

経営学科においては、確かな経営理論を修得し、実際にビジネスを立ち上げられるバイタリティに満ちた人材を育成することを目指す。規制緩和や新技術などビジネスを取り巻くさまざまな環境の変化に対応し、新たなビジョンを提示して自ら行動できる力を養い、それを基礎とした上述の三つの力を持った教員を養成することを目指す。

課程認定の設置の趣旨

中学校教諭一種免許状（社会）

経営学は、企業行動や企業環境を分析する学問である。現代社会における企業の重要性については論を俟たない。その活動領域は多岐にわたり、活動範囲も多国籍企業として世界全般に及んでいる。経営学科では、この経営学を中心に法律学や経済学などといった関連分野を含めて、歴史的・地理的な観点を踏まえつつ、教育研究を行っている。このため、社会を担当する中学校教諭が備えるべき、地理的分野・歴史的分野・公民的分野についての専門知識を、経営学科の教育課程で学ぶことができる。加えて、異文化理解や組織マネジメントに関する学びを通して子ども（人間）理解力を育成するとともに、ゼミナールなどといった小集団教育を通じて問題解決能力や情報発信能力を育成することが可能となっている。

高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

経営学は、企業行動や企業環境を分析する学問である。現代社会における企業の重要性については論を俟たない。その活動領域は多岐にわたり、活動範囲も多国籍企業として世界全般に及んでいる。経営学科では、この経営学を中心に法律学や経済学などといった関連分野を含めて、歴史的・地理的な観点を踏まえつつ、教育研究を行っている。このため、地理歴史を担当する高等学校教諭が備えるべき、地理的分野・歴史的分野についての専門知識を、経営学科の教育課程で学ぶことができる。加えて、異文化理解や組織マネジメントに関する学びを通して子ども（人間）理解力を育成するとともに、ゼミナールなどといった小集団教育を通じて問題解決能力や情報発信能力、ならびに各種資料や統計数値を解釈する能力を育成することが可能となっている。

高等学校教諭一種免許状（公民）

経営学は、企業行動や企業環境を分析する学問である。現代社会における企業の重要性については論を俟たない。その活動領域は多岐にわたり、活動範囲も多国籍企業として世界全般に及んでいる。経営学科では、この経営学を中心に法律学や経済学などといった関連分野を含めて教育研究を行っている。このため、公民を担当する高等学校教諭が備えるべき、公民的分野についての専門知識を、経営学科の教育課程で学ぶことができる。加えて、異文化理解や組織マネジメントに関する学びを通して子ども（人間）理解力を育成するとともに、ゼミナールなどといった小集団教育を通じて問題解決能力や情報発信能力を育成することが可能となっている。

高等学校教諭一種免許状（商業）

経営学は、企業行動や企業環境を分析する学問である。現代社会における企業の重要性については論を俟たない。その活動領域は多岐にわたり、活動範囲も多国籍企業として世界全般に及んでいる。経営学科では、この経営学を中心に法律学や経済学などといった関連分野も抑えつつ、ビジネスについての教育研究を行っている。このため、商業を担当する高等学校教諭が備えるべき一通りの専門知識を、経営学科の教育課程ですべて学ぶことができる。加えて、異文化理解や組織マネジメントに関する学びを通して子ども（人間）理解力を育成するとともに、ゼミナールなどといった小集団教育を通じて問題解決能力や情報発信能力を育成することが可能となっている。

以上の理由により、本学科に社会の中学校教諭一種免許状、および地理歴史・公民・商業の高等学校教諭一種免許状の取得が可能な教職課程を設置する。

● 経営学部国際経営学科（中一種免（社会）・高一種免（地理歴史、公民、商業））

教員養成に対する理念

立命館大学経営学部は、「ビジネスを発見し、ビジネスを創造する経営学」の教育と研究という学部理念にもとづいて、多様化する企業の行動様式を広く科学的、実践的にとらえ、企業経営の進路を創造的に切り拓く、豊かな人間性を備えた人材を育成することを目標としている。

この人材育成目標を踏まえ、次のような教員を養成することを経営学部国際経営学科の理念としている。

- 1) <高い専門的力量>として、経営学の専門知識と論理的思考能力、高度な外国語運用能力と国際理解力を有している。
- 2) <子ども（人間）理解力>として、広い視野で異文化を理解し尊重する能力、豊かな個性をマネジメントやビジネスに活かす能力を有し、それを子どもの理解へと繋げることができる。
- 3) <伝える力（=実践力）>として、ビジネス社会で必要とされる国際的コミュニケーション能力やビジネスに関する問題発見・問題解決能力、マネジメント課題の報告・討論・情報発信能力を有し、それを子どもへの教育に応用できる。

国際経営学科においては、国際的に通用する論理的思考力及びコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目指す。国際的なビジネスコミュニケーションに欠かせない国際標準の経営学および関連専門分野を日本語、及び外国語（英語、中国語、朝鮮語、ドイツ語、スペイン語など）により習得する。これに加えて、外国語能力にとどまらない、より広い意味での異文化間コミュニケーション能力を習得し、それを基礎とした上述の三つの力を持った教員を養成することを目指す。

課程認定の設置の趣旨

中学校教諭一種免許状（社会）

経営学は、企業行動や企業環境を分析する学問である。現代社会における企業の重要性については論を俟たない。その活動領域は多岐にわたり、活動範囲も多国籍企業として世界全般に及んでいる。国際経営学科では、そうした経営学の専門基礎分野をしっかりと学んだ上で、外国語で経営学の専門知識を「読む」「聴く」「話す」能力の育成にも力を注いでいる。また、法律学や経済学などといった関連分野を含めて、歴史的・地理的な観点および国際的な観点を踏まえつつ、教育研究を行っている。このため、社会を担当する中学校教諭が備えるべき、地理的分野・歴史的分野・公民的分野についての専門知識を、国際経営学科の教育課程で学ぶことができる。加えて、学生全員が留学プログラムに参加することを推奨しており、国際社会に主体的に生き、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力を育成するとともに、ゼミナールなどといった小集団教育を通じて問題解決能力や情報発信能力を育成することが可能となっている。

高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

経営学は、企業行動や企業環境を分析する学問である。現代社会における企業の重要性については論を俟たない。その活動領域は多岐にわたり、活動範囲も多国籍企業として世界全般に及んでいる。国際経営学科では、そうした経営学の専門基礎分野をしっかりと学んだ上で、外国語で経営学の専門知識を「読む」「聴く」「話す」能力の育成にも力を注いでいる。また、法律学や経済学などといった関連分野を含めて、歴史的・地理的な観点および国際的な観点を踏まえつつ、教育研究を行っている。このため、地理歴史を担当する高等学校教諭が備えるべき、地理的分野・歴史的分野についての専門知識を、国際経営学科の教育課程で学ぶことができる。加えて、学生全員が留学プログラムに参加することを推奨しており、異文化に対する理解や国際社会に主体的に生きる資質を育成するとともに、ゼミナールなどといった小集団教育を通じて問題解決能力や情報発信能力、ならびに各種資料や統計数値を解釈する能力を育成することが可能となっている。

高等学校教諭一種免許状（公民）

経営学は、企業行動や企業環境を分析する学問である。現代社会における企業の重要性については論を俟たない。その活動領域は多岐にわたり、活動範囲も多国籍企業として世界全般に及んでいる。国際経営学科では、そうした経営学の専門基礎分野をしっかりと学んだ上で、外国語で経営学の専門知識を「読む」「聴く」「話す」能力の育成にも力を注いでいる。また、「国際マネジメント」、「異文化マネジメント」、「国際経済」などといった関連分野を含めて教育研究を行っており、公民を担当する高等学校教諭が備えるべき、公民的分野についての専門知識を、国際経営学科の教育課程で学ぶことができる。加えて、学生全員が留学プログラムに参加することを推奨しており、広い視野に立って現代の社会について主体的に考察する能力を育成するとともに、ゼミナールなどといった小集団教育を通じて問題解決能力や情報発信能力を育成することが可能となっている。

高等学校教諭一種免許状（商業）

経営学は、企業行動や企業環境を分析する学問である。現代社会における企業の重要性については論を俟たない。その活動領域は多岐にわたり、活動範囲も多国籍企業として世界全般に及んでいる。国際経営学科では、そうした経営学の専門基礎分野をしっかりと学んだ上で、外国語で経営学の専門知識を「読む」「聴く」「話す」能力の育成にも力を注いでいる。また、法律学や経済学などといった関連分野も押さえつつ、国際ビジネスについての教育研究を行っている。このため、商業を担当する高等学校教諭が備えるべき一通りの専門知識を、国際経営学科の教育課程ですべて学ぶことができる。加えて、専門外国語科目を履修することで、外国人とのコミュニケーションに関する知識と技術（ビジネス・コミュニケーション）を育成するとともに、ゼミナールなどといった小集団教育を通じて問題解決能力や情報発信能力を育成することが可能となっている。

以上の理由により、本学科に社会の中学校教諭一種免許状、および地理歴史・公民・商業の高等学校教諭一種免許状の取得が可能な教職課程を設置する。